

平成29年度 鳴門市第一中学校キャリア教育全体計画

<p>保護者の願い</p> <p>○学力を向上し、自分が望む進路を見つけて欲しい。</p> <p>○生徒が相互に切磋琢磨し、何事にも意欲的に取り組んで欲しい。</p>	<p>学校教育目標</p> <p>知・徳・体の調和のとれた、人間性豊かな生徒の育成 ～自主性・創造性に富み、人権感覚豊かな生徒の育成～</p>	<p>生徒の実態</p> <p>○生徒数が多く、文化・運動両面の部活動、生徒会活動が大変活発に行われている。</p> <p>○コミュニケーション力については、生徒間の差が見られる。</p> <p>○何事にもまじめに取り組む生徒が多いが、課題に対して積極的に取り組もうとする意識は低い。</p> <p>○将来の夢や目標を設定する機会を増やしており、生徒の意識は高まりつつある。</p>
<p>地域等の願い</p> <p>○地域社会の一員としての自覚を持ち、産業の未来の担い手となって欲しい。</p> <p>○地域の文化を理解し、その文化を継承して欲しい。</p>	<p>めざす生徒像</p> <p>○よく学び、まことを愛す生徒 ○心をみがき、礼儀を正す生徒 ○からだを鍛え、よく働く生徒</p>	
	<p>本年度の重点目標</p> <p>自己有用感を育てる教育の実践 ～互いの良さを認め合い、夢や目標に挑戦する生徒の育成～</p>	

<p>キャリア教育でめざす生徒像</p> <p>自己有用感を高め、将来の生き方や生活を考え、学習できる生徒</p>
---

キャリア教育で育成すべき能力・態度（基礎的・汎用的能力）				
人間関係・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力	
かかわる力	みつめる力	すすむ力	えがく力	
一年生	素直に他の人の思いを聴くことを通して、自分や人を大切にすることができる。また、自分の言動を大切にしながら、新しい環境の中で人間関係を構築できる。	他の人との比較ではなく、自分をしっかり見つめる。そして、自分のよさ他者のよさに気づき、両者にとってよいと思われる行動が選択できる。	10年後、20年後の自分について思い、そのために計画を立てることができる。そのために、今学ぶ目的について、その意義とともに理解する。	職業やそのために必要な資質などを調べるために必要なICTを理解している。また、多くの人の体験談などを聞き、職業の大切さを理解する。
二年生	その場に応じた言葉づかいや行動をとることができる。また、自分の役割を自覚し、あらゆる活動に協力しながら、集団で物事に取り組むことができる。	自分の個性を大切にすることができ、他の人の個性を認めようとする。また、集団の中で、自分の存在意義を見だし、何事にも前向きに考え行動しようとする。	自分の可能性を知り、チャレンジ精神を持って、計画的に努力することができる。自らの判断基準を醸成し、正しいと思うことを自己決定によって行動することができる。	上級学校等の種類や特徴、また、その職業のために必要な資格等がわかる。また、学級や学校、家庭において自分の果たすべき役割を自覚し、行動することができる。
三年生	リーダーシップ、フォロアーシップの立場を理解し、性別や年齢に関係なく、誰とでも協力しながら、それぞれのチームの中で、行動することができる。	自他ともに、互いのよさを認め合うことができる。また、誰に対しても配慮することができ、何事にも意欲的に取り組むことができる。	自分の将来のために、中学校卒業後の具体的な進路計画を立て、努力を継続することができる。また、課題への取組を次の場面へ生かし、主体的な取組を探究的に継続していくことができる。	進路選択をするために必要な情報を選択し、自分ために工夫しながら活用することができる。自分が将来、働く存在になっていくために、日々の学習に主体的に取り組むことができる。

各学年におけるキャリア教育の重点目標		
1 学 年	2 学 年	3 学 年
○自分のよさや他人のよさに気づき、新しい環境の中で人間関係を構築しようとする。 ○集団の中で自分の果たすべき役割を自覚し、よりよい集団にめざし、意欲的に行動する。	○その場に応じた言動をとることができ、協力しながら、チャレンジ精神を持って集団で物事に取り組もうとする。 ○中学校卒業後の進路について情報を収集し、進路選択に向けての方法を考える。	○誰に対しても配慮でき、円滑に集団行動を進めることができる。 ○自分の進路決定に向けて努力を継続し、さらに、望ましい勤労観・職業観を身につけようとする。

各教科で進めるキャリア教育	
国 語	書き手や話し手の論理の展開を的確に捉え、自分の意見も持つ。お互いの考えを伝え合う活動を積極的に活用する。
社 会	様々な資料や情報機器を活用し、身近な地域や社会が抱えている現状を理解する。また、現代の経済活動や社会生活について理解を深めることで、望ましい勤労観や職業観を身につける。
数 学	自らの課題を見つけ、それを解決していくために必要な情報を活用しながら、論理的に解決していく機会を充実させる。
理 科	協力して実験・観察を行い、結果を身近な自然事象と関連させながら、考察する学習活動を充実させる。
音 楽	音楽の表現技能を伸ばし、創造的に表現する能力を育成すると共に、音楽を生活に生かし、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。
美 術	ものづくりを通じ、以前より優れた自分を自覚し、自分の可能性や目標を高めるような活動を充実させる。文化的な遺産などについても理解を深めるような活動にも取り組む。
保健体育	自分や他人の動きを見たり、考えたりすることを通して、相互の良い点を見つけ、より運動機能を高めようとする意識を育てる。生涯を通して、健康や安全についての意識が高まるような学習活動を充実させる。
技術・家庭	様々な活動の中から、自らの課題を見つけ、主体的に解決をしていこうとする意識を高める活動を充実させる。 (技術分野)ものづくりの実践力を身につけさせる。地域産業の未来を創造する力を育成するための学習活動を充実させる。 (家庭分野)家族や社会の一員として、よりよい生活を送るための方法について考え、行動できる力を育成するための学習活動を充実させる。
外 国 語	諸外国や自国の言語や文化に対する関心を高め、国際理解の基礎を身につけ、さらに、コミュニケーション力を高めるような活動を充実させる。

総合的な学習の時間におけるキャリア教育	特別活動におけるキャリア教育	道徳の時間におけるキャリア教育
自分が希望する進路の実現に向けて、自分にあつた暫定的な計画を立てたり、自らの課題を設定することができる。その課題を達成するため、集団の中で、自分の役割を自覚しながら探究的な活動を行う。さらに、表現活動を通じ、新たな課題を見つけ、その解決に向けて意欲的に取り組む実践力を養う。	学級活動(3)「学業と進路」に関する活動において、自分の生き方、学ぶこと、働くことなどに関心を持たせる。自分のよさを大切にしなが、自分の将来の夢や職業を思い描き、その実現に向けて、集団や社会の中で、望ましい生活を送ることができるように工夫した実践を行う。	自分の尊厳に気づき、自分の行為が周囲に及ぼす影響についても自覚させる。授業を工夫し、道徳的に望ましい感じ方や考え方の定着をはかる。さらに、勤労の尊さを重んじる生き方を基に、学校や地域の一員として、お互いを尊重し、共に伸びていこうとする精神を育成する。